



合瀬 健一

小城市中期財政計画について

市長

市民サービスの低下のない財政運営をする。

問 平成27年度より急激な予算の減少が見られるが、その理由は。

答 (市長) 合併優遇措置で交付されていた普通交付税が平成27年度より5年間かけて削減される。それを想定して中期財政計画を立てている。

問 平成28年度の人件費は平成27年度より約2億円減っている。これはどの事業からの人件費の減少か。

答 (総務部長) 事務補助的な人件費とか、そういう部分を再労働調整して計画を立てている。どの事業からというこ

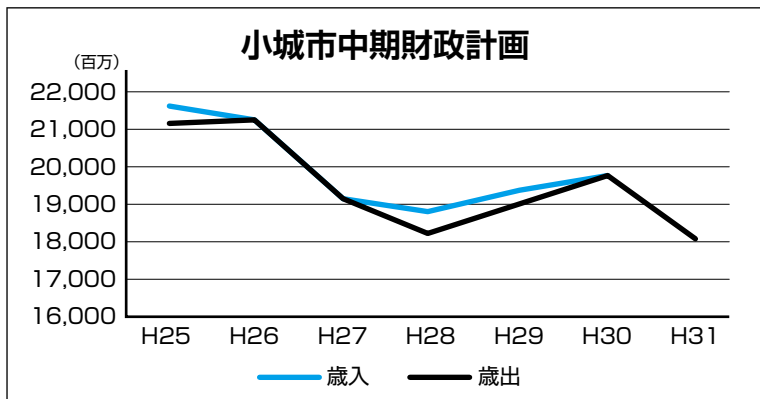
とは具体的にない。

問 人件費が減ったら住民サービスの低下が起きるのではないか。

答 (総務部長) やはり職員が当然カバーをしていく部分もあるうし、職員自体の質の向上も研修などで図りながらカバーしていくことも必要である。又、今から民営化を図り、アウト

ソーシングしながら人件費の削減を実施していくことも考えている。

ソフ



▲中期財政計画の歳入、歳出シミュレーション



中島 正樹

効果的・効率的な行政サービスを

市長

市民の声が反映されるよう取り組んでいく。

問 市における事務事業評価をどのようなシステムで行っているのか。

答 (市長) 評価は事後評価とし係長以下を中心に前年度の振り返りを行い次年度に反映している。

問 今後の方針はどう考

答 (市長) 事務事業優先度評価を進めて予算編成などに結びつけていきたいと考える。

総合運動公園構想について

問 計画化はどう考えているか。

答 (市長) 平成22年に策定されたスポーツ振興基本計画にも将来的には市中央付近に一体的に集約された総合スポーツ施設が望まれるとされている。色々な課題があるが様々な方面から検討する必要があり25年度については検討をやっている状況だ。

小城公園テニスコートの整備の考えは。

答 (商工観光課長) 現状を考えると、いずれはコートのサーフェス面の問題が出てくると思うがまずは関係団体等に意見を求めてみたいと考える。

問 「ソフトテニス発祥の地」



▲「ソフトテニス発祥の地」小城公園テニスコート



岸川 英樹

どうなる小城市農業は！

市長

新しい政策で、所得の確保を図る必要がある。

問 農家は急速な改革で大きな不安がある、生産調整見直しで所得はどう変わるのか。

答 (市長) 米の直接支払交付金が減り、転作作物への助成を増やし、主食用米の需給調整を行い、農家の努力に応じて所得を確保できる仕組みになる利益が生まれる作物で所得の確保を図るやり方を考える。

答 (産業部長) 水稲で約4万8千円、大豆で6万1千円、小麦は約3万2千円と平均的試算。

問 農業の競争力強化に向けた政策の考えは。

答 (市長) 25年度より暗渠排水事業を実施継続している、農業用水の確保で筑後川下流土地改良事業、排水対策では国営総合農地防災事業及び県営クリーク防災事業に積極的に取り組んでいる。

問 暗渠排水事業があるが全て整備できるのか。

答 (産業部長) 要望面積は倍以上



▲県営クリーク防災事業の整備状況

あるが、県、農政局へも事業の期間や計画変更して倍増できるように申請を行うようにする。



平野 泰造

総取水量の規制撤廃の要望は

市長

協議会へ問題提起をし、国へもの申す

問 年間総取水量の制限は、川上頭首工において、以前はなかった。平成12年3月、農業、生活、防火、生態系に係る用水は、必要水量を確保すると取り決められた

答 (市長) 平成12年、水利権の中の雑用水が分離され、水量規制のあと総量規制があり、かんがい期でも危惧している。確認書で、雑用水は支障が生じないように対策を講ずるとあるが現在支障がでている。連絡協議会は平成18年の第17回より開催されていない。連絡協議会に問題提起をし、国へ要望書を出した



▲分水されている川上頭首工

が、雑用水は不足している。過去の最高取水量2億6千万トン、現在約1億トン取水量が減っている。減反禁止飼料米作付をといわれる今日、取水は大丈夫か。

答 (産業部長) 大きな転換期ですが、今まで同様主食用水稲、大豆を中心に作付し、現場の声を聞き対応する。事業量の変更は農政局から計画変更、新規採択申請を行うよう指導された。

今後の農業の方向性と関連事業について

問 突然の5年後の減反廃止という発表に農家の動揺はかくせない。どのように対応するか。

その他の質問

○空き家の有効利用について



▲中川都市下水路

問 都市下水路は市内に何か所あるか、いつどいう目的で建設されたのか。

答 (建設部長) 小城市に中川都市下水路、西小路下水路の2か所、



大坪 徳廣

都市下水路とは

市長

都市計画決定がなされ指定整備されている

牛津町に若江都市下水路の合計3か所ある。中川都市下水路は昭和38年から39年にかけて整備され、西小路都市下水路は昭和39年から41年に整備され、両水路とも昭和55年2月に都市下水路として指定、若江都市下水路は昭和60年から平成3年に整備され、平成5年に都市下水路として指定されている。従来の水路や河川などを都市下水路として整備して使用する例が多くあり、雨水を速やかに流すことが目的。

公共下水道事業について

問 公共下水道事業の整備率について、清水

○水稲の虫害について

その他の質問

答 (建設部長) 下水道計画の中で処理場の指定し、地区に処理場の設置をお願いしていたが地元の理解を得られず、下水道の認可が得られなかった。



上瀧 政登

JR長崎線の踏切の改良工事は

市長

市でできることはやっつけていきたい

牛津駅東の踏切そばの土地購入について

土地があるが現在はその土地の買収については考えていない。

問 長崎線は現在上下合わせて1日、148本も列車が通過している。今後更にフリーゲージトレインが走り増加するようになる。牛津町下砥川の柳鶴踏切の安全性は確保できるのか。

問 牛津駅東の踏切は通行する人・自転車・車が多く時間帯によっては、しゃ断時には相当行列ができています。更に増便や市営住宅建設等で混雑が予想される。踏切の北東に民有地がありそこを買収して見通しのよい環境を保持する必要があると思うが。

その他の質問

○国の減反政策について

答 (市長) 農作業の車輛も通過するこの踏切は欠陥踏切であると認識している。地元の要望もあり市道と踏切を直交させるのがベターだと思う。改良のための費用負担について市と県・JRがよく協議して早急に対策を講ずる必要がある。

答 (市長) 牛津・芦刈商工会の駐車場が減少する部分については郵便局横に対応する



▲牛津駅東側の民有地



▲35℃を記録（H23.9.9）した晴田小

上峰町、みやき町。②全学級数は、164クラス。③普通教室のエアコン設置は、設置費やその後の維持管理費等、財政負担が大きいのことが予想される。扇風機でいくと教育委員会では決めた。

問 ①県内でエアコン設置が進んでいる市町があるのか。②市内小・中学校の学級数と全学級にエアコンを設置する場合の総事業費は。③教育委員会は、小・中学校の

答 （教育長）①県内で全学級にエアコン設置が完了している市町は、嬉野市、吉野ヶ里町、



松尾 義幸

小・中学校の全学級にエアコンを

教育長

財政負担が大きいため扇風機でいく

エアコン設置をどう検討してきたか。

（教育部長）②1教室2台を設置した場合、約130万円かかり、特別支援学級を除くと154学級で総事業費は、2億円が見込まれる。

問 9月に気温の調査をされているが、毎年6月、7月頃から調査が必要ではないのか。

答 （教育部長）夏休み前から調査をする方向で検討する。

その他の質問

○小城市下久須の水路工事地元負担金について
 ○消防水利について



▲高齢者施設でのボランティア活動

問 介護の必要度が低い要支援1、2が市町村に事業移行される場合利用者は今まで通り不安なく利用できるか。①要

支援1、2の市内認定者数。②通所介護（デイサービス）と訪問介護（ホームヘルプ）にかかる事業費はいくら。

額。②平成22～24年度の戸別所得補償制度の実績額は。③農家にとってどちらが良かったと思われるか。

答 （福祉部長）①要支援1が382名。要支援2が322名で、合計704名。②両方合わせて年間7,800万円程度の見込み。

答 （市長）①交付額は15億4,900万円。②実績額は22年度2億8,900万円。23年度21億7,600万円。24年度21億3,500万円。③（産業部長）戸別所得補償制度は規模の大小にかかわらず全農家へ一律に交付され、農業者全体にとって良かったと思う。

コメ政策の評価について

問 平成23年度から本格実施された農業者戸別所得補償制度は、農家に定着し好評な政策だ。

①平成21年度の品目横断的経営安定対策の交付

その他の質問

○女性に対する暴力の根絶について



香月チエミ

要支援1・2の市町村移行で不安

市長

制度改正があればしっかり見据えて対応する

制度改正があればしっかり見据えて対応する

額。②平成22～24年度の戸別所得補償制度の実績額は。③農家にとってどちらが良かったと思われるか。



▲新庁舎屋上のソーラーパネル

問 新庁舎となり、西館と東館の間に分煙室が造られていた。いつの

分煙について

まず、脱原発を唱えられている。その観点からしても、市内の各公共施設にソーラーパネルを設置して、みずから発電をされては。

問

市長は、脱原発を唱えられている。その観点からしても、市内の各公共施設にソーラーパネルを設置して、みずから発電をされては。

答

(市長) 現在国が実施している再生可能エネルギー等導入推進基金事業という補助事業(補助率10分の10)がある。その事業に採択できるように申請をしている。



市丸 典夫

各公共施設にソーラーパネルを

市長

まずは市内4ヶ所の保健福祉センターから

間にか北側の駐車場に追いやられている。その理由は。

答

(総務部長) 喫煙された煙が事務所の中に流動してくるため北側に移動した。

問

吸う人も吸わない人も笑顔で暮らせるまちづくりが必要だ。分煙室を庁舎内に設置しては。

答

(市長) 全面禁煙ではないが、喫煙される方々に配慮をお願いしたい。



▲自主防災組織で地区内のハザードマップ作成

年々自然災害が大きくなる。災害時の要支援者や高齢者など移動手段を持たない方々へ、公用車かバスの手配はできないか。

問

年々自然災害が大きくなる。災害時の要支援者や高齢者など移動手段を持たない方々へ、公用車かバスの手配はできないか。

答

(市長) 自主避難は明るいうちに避難される。市で交通手段の手だては困難である。

問

地域リーダーの区長と消防団の連携での避難のイメージ

ジトレニン グなど考えられているのか。

答

(市長) まず、防災意識を高めたい。市の方からも出前講座をどんどんやります。



諸泉 定次

災害時の要支援者へのバス運行は

市長

自主避難の交通手段の手だては困難である

問

避難場所である学校でのテレビ・ラジオがなく情報が入らない。また、トイレの洋式化も進んでいない。

答

(市長) 学校を避難場所とする時は、職員が配置されており、ラジオ等を持ち込んで情報共有したい。(教育部長) 学校関係のトイレの洋式化については、大規模改築のところは、適正に整備を進めていきたい。

その他の質問

- 市民病院のあり方について
- 借地対策について



▲急がれる空き屋対策

約半数は適正な管理がされていない現状は把握している。条例制定を含め関係部署で検討を行っているが、国の法律改正など状況を見据えながら、より実効力のある条例として制定を考えている。

問 空き家が年々増加し、社会問題化している。廃屋対策にも課題は多い。県内でも7市が、全国的にも270以上の自治体で条例化が進んでいる。昨年、市長と語る会の場においても、また、議会の場でも「空き

答 (市長) 小城市においても、近年、空き家は急増しており、その約半数は適正な管理がされていない現状は把握している。条例制定を含め関係部署で検討を行っているが、国の法律改正など状況を見据えながら、より実効力のある条例として制定を考えている。



西 正博

空き家対策の 条例制定への進捗は

市長

国の状況を見据えた中で
条例制定をしていく

教育への施策について

問 最近、市内で不審者情報が増えたと思う。学校周辺に防犯カメラの設置を推進したらどうか。事件が起きる前に、防犯にも抑止力にもなると思う。

答 (教育長) 社会情勢は不安要素を含んだ環境になった。防犯カメラの設置は、今後の検討課題の1つと認識する。

その他の質問

○健康への施策について
 ○図書購入に自主財源を



富永 正樹

小城市版登録文化財の 指定を急げ

教育長

登録文化財の制度導入は現在
考えていない

問 ①ある日忽然と消えて行く市内の歴史的遺跡の状況を寂しくもまた憤りさえ覚えるが、市として、小城市版の登録文化財指定などの制度をつくり保存活用の手を打つべきでは。②傷みかけた石造物を中長期計画を立て整備をする考えは。③市内の全部の寺を網羅した寺マップ、肥前鳥居マップ、石灯笼マップ、大木・珍木マップなど個別的に文化課と観光課が協働して作る考えは。④肥前狛犬を学ぶ会設立と今後の活動は。⑤晴田小前川内分校の今後について。

答 (教育長) ①指定文化財以外の文化財の調査は当然の責務だが、小城市版登録文化財は考えていない。②優先度、危険度を勘案しながら、ものの所在と状況の把握はしっかりしていくべきだ。(観光課長) ③1冊でアピールするためには、まとまったものを作らざるを得ない。個別につくる

考えはない。(文化課長) ④99名の会員で学ぶだけではなく楽しく会を運営し、この団体と協力しながら調査研究を進めたい。(教育部長) ⑤青少年や一般の方々の体験的な活動に有効活用ができればと思っている。観光的活用は検討課題だ。



▲剣道師範父子の顕彰碑 (上) がソーラー発電に (下)



樋渡 利光

仁俣中継ポンプ場の
現状は

市長 本年12月末ごろ事業に着手、
平成26年末完了

問 9月議会に契約議案として提出された仁俣中継ポンプ場建設について現状報告を求める。

答 (市長) この仁俣中継ポンプ場は公共下水道の事業として、小城市の処理区、それから三日月町の甘木、本告、久米、要するに仁俣より北側の処理水を三日月の処理場にもっていくための中継ポンプ場であり、仁俣地区にお願いし、ポンプ場を建設する事業である。

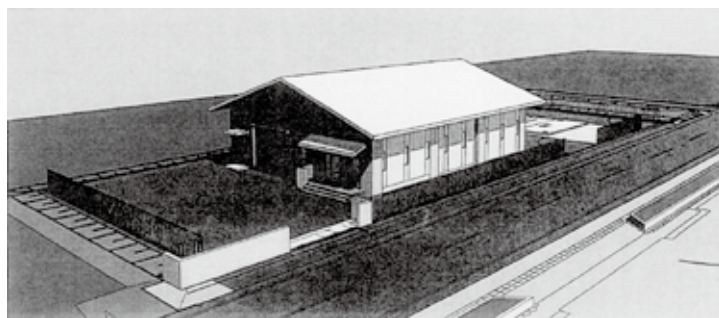
問 ①平成25年度3千万の予算を組まれているがその内訳は。②土木工事費、設備工事費、電

気工事等の試算は。③仁俣中継ポンプ場から三日月浄化センター、牛津浄化センターに送水、処理能力のちがいは。

答 (下水道課長) ①平成25年度の3千万は基礎のくい打ち28本分で

す。②この試算は三日月と牛津に送るための規模と仁俣中継ポンプ場から上流側で発生する汚水量を計算をして、この規模になった。③三日月処理場に送る仕様は、ポンプの径が150で分間当り2・95立方

メートル、牛津処理区に送る仕様は、ポンプの径が150で1分間当り1・67立方メートルとなっている。



▲仁俣中継ポンプ場の完成予想イラスト



樋渡 邦美

現在の企業誘致活動の
状況は

市長 自らトップセールスとして
工業団地のPRをしている

問 工業団地の造成に当たり現在企業誘致活動の状況は。

答 (市長) 本年度企業からの問い合わせは4件あつてゐる。そのうち1社とは踏み込んだ話しをしているが合意まで



▲小城螢の郷ファクトリーパーク

には至っていない。

問 中林梧竹翁との関係で日本でも超有名な優良企業を市長が訪問したと聞いているが。

答 (市長) 富士山の頂上に中林梧竹が書いた銅碑があり昭和42年に崩落、日本の有数の飲料メーカーの創業者が新たにその碑を建てていただいた。物すごく緑を感じ訪問し企業誘致のPRも積極的に行っている。

問 本庁舎建設に伴う周辺道路の整備状況は。

本庁舎建設について

答 (市長) その周辺で環境整備も年次年次で、しっかりと協議し整備を行う。

保育園等の民営化について

問 市立保育園等の民営化は23年度牛津保育園以降進んでいないが、現在の状況は。

答 (教育長) 幼児教育審議会からの答申をもとに公立保育園4園、公立幼稚園3園を検討委員会を設置し検討を進めている。



江島佐知子

教育長

生活に目標、意欲を持たせることが重要

教育の小城市を目指して

問 ①全国学力調査の結果と学力向上の取組。②ネット依存への取組。③発達障害児に対する子どもサポーター制度は十分か。④来春よりスタートする芦刈小中一貫校の教育方針は。

答 (教育長) ①小学校の基本事項は全国平均を上回っているが、中学校は平均に達していない。小中ともに応用力、表現力、学習意欲に課題がある。校内研究による指導方法の改善、小テストの実施、個別補充指導の充実を図っている。学習意欲の向上に向けてICTを活用。「家庭学習の手引き」を保護者に配

布し、充実を図る。②警察やNPO法人とも連携して保護者、地域の方を含めて講演会等で啓発している。③昨年度よりサポーター22人を小中学校に配置、現在対象児童・生徒は46人、サポーター1人で平均

2・1人を担当。県内市町で取組に差があることも問題であり、県全体で取組が進むよう県にも支援の要請をしている。
 ④郷土学習の実践、英語教育への特徴ある取組などは

すでに導入し、さらに進化させる。柔道全国への期待もある。

その他の質問

○市役所の機構改革について



▲改築された芦刈小学校



下村 仁司

市長

地域農業を守るため、国にしっかりと要望する

米の補助金や減反の廃止 報道について

問 農業を守る政策では無く、国土を守る政策と思うが。

答 (市長) 農業で飯が食えるかが課題じゃないかと思う、農林省とのヒヤリングなどで意見を申し上げる。

答 (市長) 生活排水がそのまま流れて濁っている、ゴミも一緒にながれている。市民皆さんの協力をいただき、清掃活動や池の浚渫をやる必要がある。

問 (市長) 減反廃止ではなく、米の生産調整だから、要は集落を守る、田畑を守る政策につながるっていく感じがする。

城下町小城の水路の管理や整備の考え方は

問 天山(やま)から有明海(うみ)へ水つむぎ水サミットも開かれ、清水川の名水も国道203号線ぐらいで汚れている。小城公園の池や恵美須神社の池の水をきれいに

問 小城市に3500戸あった農家が今1700戸、認定農家数は。



▲松屋の堀から流れ出て小城公園へ

問 10年、20年後の小城市農業はどうなるか。

答 (農林水産課長) 12月現在では65歳未満の認定農業者は250人。



深川 高志

牛津保育所民営化後の
評価は

教育長

民営化評価委員会を設置し
検証、評価を実施

民営化後のこどもの森
保育園、幼稚園

問

牛津保育所が民営化され認定こども園として、こどもの森保育園、幼稚園となっており、民営化後の評価ということ
で、評価の結果はB評価
でおおむね達成と言われ
ている。評価シートによ
る成果及び課題、反省点
を踏まえて伺いたい。

答

(教育長) 公から民
へ引き継いでいくた
めには、きちっとした検
証をし、評価を実施して
いる。

牛津保育園の民営化に
ついては、新たな場所に
新築し、認定こども園こ

どもの森へ、平成23年度
移管しており、保育事業
の引き継ぎや運営につい
て検証が必要であり、民
営化の検証、評価の結果、
民営事業者への移管につ
いては、大きなトラブル
はなく、おお
むね達成の評
価である。

移管事業者
は、子どもの
成長を最優先
とする立場に
努め、幼稚園
教育の経験と
民営化前の保
育の違いを自
覚し引き継ぎ
をスムーズに
する努力が評
価されてい

る。しかし、認定こども
園という新しい保育園制
度への変化に対する保護
者の不安については、よ
り一層の配慮が必要とも
評価されている。



▲民営化後のこどもの森保育園、幼稚園

平成25年度 3月~11月 小城市へ行政視察(受入)一覧

視察日	委員会	視察来庁	視察内容
平成25年 3月26日	会派	岡山県倉敷市	小城市立保育園民営化ガイドラインの概要
平成25年 5月16日	産業建設常任委員会	高知県南国市	住宅リフォーム助成制度
平成25年 8月 1日	民生水道常任委員会	奈良県葛城市	高齢者福祉サービス・保険サービスの各種 取り組みと地域密着型サービス
平成25年 8月 9日	会派	愛知県清須市	市庁舎増改築工事
平成25年10月23日	市庁舎建設特別委員会	東京都府中市	新庁舎の概要
平成25年10月29日	建設水道常任委員会	奈良県大和郡山市	中心市街地活性化基本計画
平成25年11月 7日	会派	千葉県市川市	新庁舎整備
平成25年11月19日	議会改革特別委員会	宮崎県日南市	庁舎建て替えに伴う議会フロアのレイア ウト
平成25年11月20日	庁舎整備特別委員会	愛媛県西条市	新庁舎の整備